

#編集後記 機械に罪はないのだ



アヴェニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail avenir4you@gmail.com



皆さん、東京オリンピックはご覧になりましたか？

期待通りに感動の多い大会でしたが、とりわけ僕の印象に残った

のが、ボクシング女子で日本初の金メダルを獲得した入江聖奈さん（20＝日体大）です。

「逆上がりもできない運動音痴」という彼女が、努力で掴んだオリンピックの金メダルです。

発明王エジソンの「**天才とは1%のひらめきと99%の努力である**」という言葉思い出しました。(^^)/

東京オリンピックや新型コロナのニュースで影が薄くなっていますが、僕が残念でしょうがないのが、三菱電機の一連の不祥事のニュースです。8月17日の日経新聞では、配電盤の検査が約25年間にわたり、必要な検査を省略していたと、またも報道されました。報道では品質検査の省略が当たり前のようになっていたようです。「**失敗の最たるものは失敗したことを自覚しないことである**」とは、英国の歴史家トーマス・カーライルの言葉。そんな次から次に不祥事や品質不正の問題が出てくる三菱電機ですが、今から35年以上も前、僕が会社員として何とかやっていた地盤を築くことができたのも、その三菱電機に約1年間出向（正確には業務応援）して技術を磨いた経験のおかげでした。



僕が大学を卒業して就職したのはシステム開発の会社でした。入社したばかりの頃は**失敗**ばかり。プログラマーとして完全に落ちこぼれていました。僕をよく知る大学生時代の悪友は、「柿野の性格はコンピュータと真逆じゃなか。同期の中で一番早く退職するやる。」とお酒の席で冷やかされました。自分でも「まあそうかもしれないなあ」って苦笑していた記憶があります。(;-;))

友人の川上くん



そんな僕が東京の三菱電機のプロジェクト（ある化粧品メーカーが百貨店の自社ブランドの売り場に設置する顧客管理システムの開発プロジェクト）に参加することになったのです。もちろん、そこでも僕は悪戦苦闘。自分では一生懸命やっているつもりなのですが、コンピュータは思い通り動作してはくれません。

そんな時、その職場で一緒になった先輩が僕に言ってくれた、忘れられない言葉があります。



「柿野君、**機械に罪はないんだよ**」

コンピュータといえど結局のところ機械は機械。設計・開発から運用・操作・メンテナンスまで、「人」が動かします。思い通りに機械が動かないのであれば、それは「人」のせい。つまり僕自身の問題なのです。そこから僕は一念発起して勉強しました。（まあそれなりに、ではありますけど・・・）

あの時の三菱電機での経験がなければ、悪友の言う通り、きっと僕はすぐ退職していたと思います。

システムという「箱」づくりの前に「人」づくり。「機械に罪はない」の考え方は、人事労務に携わり、制度（箱）策定や運用を助言させていただく立場にある、今の僕のバックボーンになっています。今もまだ三菱電機時代の僕の名刺はとってあります。思い入れがあるからこそ、三菱電機のニュースが残念で仕方ないのです。(>_<)

もしかすると僕がオリンピックに感動するのは、入江選手に限らずオリンピックに出場する多くの選手が、僕の子どもの世代ということがあるように思います。オリンピックという集大成の舞台を通して、幼い頃から**そこに至るまでの努力や成長のプロセス**を、我が家での子育てや少年野球のコーチをしていた時の記憶にオーバーラップさせて、思いを巡らせてしまうところがあるのかもしれない。



何年前か前、僕の娘が就職して1、2年経った頃だったでしょうか、娘に「仕事はどうや？」って何気に尋ねたことがあります。娘は「**私、失敗が多いんよ**」って照れくさそうに笑って答えました。あらま、この娘はやっぱり僕の娘だわと、心の中で娘の職場の皆さんに頭を下げました。

父親に似た「どんくさい」娘でごめんなさい。そして、ありがとうございます。m(_)_m

その娘は関東に住んでいるので、新型コロナでズルズルともう2年近くも会っていません。

元気で、未来に価値ある「失敗」と「努力」を積んでくれていることを願っています。(^^)/

機械に罪はないんやで！

怖いから声には出さないけどネ



パソコン嫌い！

柿野嫁

アヴェニール労務事務所

未来は変えられる！

avenir